



内政干渉を押し返す気構えが 国民の一人ひとりに求められています

靖国神社への閣僚や国会議員の参拝、さらには安倍首相の「参拝に対する」どんな脅かしにも屈しない」との国会答弁に中韓両国が反発し、国内の一部マスメディアも、参拝や首相の発言に問題ありと論評しています。日本側に非があるといわなければなりません。

そうでしょうか？

首相が述べたように「国のために尊い命を落とした英霊に尊崇の念を表するのは当たり前」であり、これは日本人の心の問題です。むしろ、政治家の靖国参拝を、ある時期から外交問題に発展させてきた中韓両国、それを煽り立てる一部マスメディア、そして物言わぬ日本人の側こそ問題の根があると言わなければなりません。

中韓両国との信頼構築が大切なのは言うまでもありません。しかし摩擦を起こさないことを国益とみなす事なかれ主義に埋没した日本政府が、不必要な譲歩を重ねて事態をこじらせたのです。日本と中国・韓国との関係を正常なものとするには、まず両国の政治的意図を見抜くこと、その上で日本の姿勢を真摯に説明すること、そして不当な内政干渉については毅然と押し返すことが肝要です。

どんな脅かしにも屈しない——これは政府のみならず、日本国民一人ひとりが求められている基本的姿勢ではないでしょうか。

公益財団法人 国家基本問題研究所

理事長 櫻井よしこ
副理事長 田久保忠衛

【役員】

荒木和博 石川弘修 石原慎太郎 井尻千男 伊藤隆 上田愛彦 梅澤昇平 遠藤浩一 大岩雄次郎 小倉義人 五島幸雄 斎藤榎 佐藤守 島田洋一 すぎやまこういち

住田良能 高池勝彦 立林昭彦 塚本三郎 富山泰 中條高德 西修 西岡力 春山満 平川祐弘 福田逸 堀義美 堀義人 屋山太郎 渡辺利夫

意見広告

入会案内 | 情報を共有し、日本を変えていくために、広く会員を募集しております。入会御希望の方は郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記して、葉書もしくはFAXにてご連絡ください。折り返し入会申込書をお送りします。ホームページからも入会できます。

葉書 〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目8番10号 平河町宮川ビル3階「国家基本問題研究所事務局」A係

FAX 03-3222-7821

URL <http://jinf.jp/>

国基研

検索